



学校だより

あしたへ探中

あいはし しぼ たかはし 但中

令和8年4月10日
豊岡市立但東中学校
4月号

【学校教育目標：ふるさとの未来を創る 自分をつくる 但東の子】

令和8年度 プロローグ ～未来(あした)に向かって探求・探究の中学3年間～

4月8日に新1年生26名を迎え、全校生75名で令和8年度がスタートしました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご進級・ご入学おめでとうございます。

教職員一同、本校の学校教育目標「ふるさとの未来を創る 自分をつくる 但東の子」の育成に向け、全力で取り組みますので、本校の教育活動推進へのご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



さて、私は今年度資母小学校から異動してまいりました校長の北川 尚宏(たかひろ)といます。縁あって、但東町内での異動となりました。中学生という多感な時期の生徒の教育を担うことに責任の重さを感じておりますが、但東町全体のことを考えて教育活動を行えることによるこびを感じております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

以下に、始業式の式辞と入学式の式辞の一部を掲載します。

【始業式式辞より】

さて、第5次とよおか教育プランの教育理念は、「豊岡で育む『在りたい自分』と『在りたい未来』を創造する力」とあります。

今の自分はこう在りたい、未来の自分はこう在りたい、未来の但東町はこう在ってほしい、と、思い描けますか？

正直、校長先生の中学時代、それらはほとんど思い描けませんでした。将来の夢も2転3転しました。結果的には小学生の時の夢を叶えましたが、その当時は、なんとなく日々を過ごしていたように思います。部活動やテスト勉強は一生懸命していました。

でも、今現在、55歳の私は、今、こう在りたい。60歳、70歳、80歳の私はこう在りたいと思い描き、今を生きています。

叶うかどうかは別として、在りたい自分、在りたい未来、が思い描けると、それに向かう努力目標がはっきりします。

みなさん、日々の生活に目標設定をしましょう。少しの努力で叶うものを、です。ハードルを高くする必要はありません。それを達成するごとに、次の目標を立てるのです。目標を達成することで得る達成感。人はそれが、生きるよろこびにつながります。

みなさんはもうご存じの東井義雄先生のことば「自分は自分の主人公」も、「在りたい自分」と「在りたい未来」を創造しなさいよというメッセージだと思えます。

「自分は自分の主人公 世界でただひとりの 自分をつくっていく責任者」です。
人のせいにせず、しっかりとウェルビーイングな自分生活を創りましょう。
生徒会スローガンの「和衷協同（わちゅうきょうどう）」心をつ一つにして、和みながら協力して
いく。これも、とても、いいですね。さあ、気持ち新たに進みましょう。

【入学式式辞より】

晴れて但東中学校の生徒となった新入生の皆さんに、校長として伝えたい言葉が3つあります。
一つ目は「自分は自分の主人公 世界でただひとりの 自分をつくっていく責任者」という、東
井義雄先生の言葉です。

あなたをつくるのは、あなた自身。「今の自分はどう在りたいか」「未来の自分はどう在りたい
か」を思い描いて、責任をもって自分づくりをしてください。

二つ目は、「校是」として掲げてある「愛(あい)」「誠(まこと)」「志(こころざし)」です。

「愛(あい)」 自分を愛し、友を愛し、親を愛し、但東を愛する。自分と関わる全てに、愛を持
って接してください。

「誠(まこと)」 自分に正直に。自分に関わる全ての人、物事に、真心をもって接してください。

「志(こころざし)」 目の前の目標。未来の目標。志を高く、明るい未来を自分の手で切り拓い
ていきましょう。

三つ目は、「小さなよろこびを積み重ねましょう」です。これは、私が日々、心掛けていること
です。

人は、「よろこび」のためにがんばり、「よろこび」があるから生きられるのだと思います。

「小さな」だったら、いくつでもできそうな気がします。「小さな」だったら、がんばれそうな
気がします。そして、その「小さな」があつてこそ「大きなよろこび」に繋がります。

小さなよろこびで、ワクワクして生活しましょう。

以上3つの言葉。これらはすべて、「在りたい自分」と「在りたい未来」を創っていくことにつ
ながります。

○教職員の異動のお知らせ

WEB版は割愛します

「サポートルーム」について

豊岡市内の小・中学校には、校内サポートル
ームが設置されており、但東中学校にも令和6
年度6月から支援員が配置されています。

「サポートルーム」はその名のとおり、生徒
の学校生活をサポートする教室です。「ちょっ
としんどいな」という「心と体を休息させる場
所」です。サポートルームで支援員と学習した
り、読書をしたり、身体を動かしたり、お話し
たり・・・etc。そしてまた、教室に向かう。

「利用したいな」と思う生徒やその保護者様
は、担任に限らずどの職員でも構いませんの
で、相談してください。

【令和8年度 教職員の紹介】

WEB版は割愛します

